

# 玉 垂

たまだれ  
No.16



どんど焼 (平成18年1月15日)

<http://www.okunijinja.jp/>

御挨拶

小國神社宮司 打田 文博

平成十五年九月十四日、当社に御参拝賜りました秋篠宮紀子妃殿下におかせられましたは、御懐妊との報道に接し衷心よりお祝を申し上げ、この上は御無事の御出産を謹んでお祈り申し上げます。

月日の流れは早いもので、つい先日正月を迎えたと思っていましたら、早節分も終り春を待つばかりとなりました。氏子・崇敬者の皆様方には、平成十八年を着実に歩まれておられることと拝察申し上げる次第であります。

昨年は、御鎮座一四五〇年一色で過ごした一年でしたが、同時に始めました記念事業も順調に進み、第一期工事の舞殿のお屋根替えや修復も無事に終わることが出来ました。

また、三年計画の募財活動も、着実に進み多くの方々への御理解と御協力に、唯々感謝申し上げますのみであります。

本年は、記念事業も引き続き第二期に進み社務所の増改築に着手いたしてまいります、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨今の世情は憂慮を越えて危機感すら覚えます。「マンシヨンの耐震偽装」「ホテルの不正改造」「ルールを無視した拝金主義」など経営者のモラルの欠如による犯罪が頻発しています。思い起こせばモラルの欠如は、何も経済界だけの話ではありません。昨年の衆議院議員選挙においても「刺客」が出たり「人寄せパンダ」が出たりで、最もモラル(人の道)を重んずべき政治の世界でも、子供たちでさえ目を覆う程の有り様でした。しかしこれらの現象は、一部の特殊なケースではないように思います。自己の利益や勝ち負けのみに拘り、そのためには自らモラルハザードを下げて何とも思わぬ人間が急増しているのではないのでしょうか。

また近年、「改革」とか「改正」が至る所で聞かれますが、結果として改悪になることも少なくありません。特に倫理や道徳が低下した次元に迎合するような改革は慎むべきです。何故ならば、問題を先送りしただけになるからです。さらに一方で、日本が続く限り守らなければならない制度や慣習も多くあります。昨年末、忽然と表われた「皇室典範修正案」なるものは、その最たるものです。世界に類例のない我国の皇位は、如何なる時代にあっても男系の天皇によって継承されて来たのです。この事実は皇位継承の伝統であり、同時に日本の国柄中の国柄であり、そして二千年の歴史には、時代時代の人々の想いが重くのしかかっているのです。今に生きる私たちは、時代のランナーとして引き継いだ伝統を次の世代に正しく伝える責任を負っているのではないのでしょうか。

(二月十五日記)



社務所前・鳥居の横断幕



雪の舞殿



田遊祭のもちまき (1月3日)



奉納の戌年大絵馬



歳旦祭齋行 (1月1日午前3時)



師走の大祓式

小國神社社務所 大祓係  
 TEL 〇五三八一八九一七三〇二  
 FAX 〇五三八一八九一七三六七

この神事は年二回行われており、来る六月三十日には、夏越の大祓式(茅輪神事)が齋行されます。  
 当日ご参列いただければ、ご一緒にお祓いをお受けいただけますので、是非ともご家族の皆様お揃いでお申し込みの上、ご参列いただきますようご案内申し上げます。  
 尚、大祓の人形は一ヶ月前より、ご祈祷をお受けいただいた方々に、または社頭にてお頒け致しておりますので、ご希望の方は当社までお問い合わせ下さい。

### 師走の大祓式齋行

十二月三十一日の大晦日、午後三時より師走の大祓式を齋行致しました。

大祓とは、日常生活の中で無意識のうち心や体についた罪やけがれ、不浄なものを身代わりとなる人形に移し、川に流して祓い清める神事のことをいいます。当日は、天候にも恵まれ多勢の方がご参列され、神職とともにお祓いをお受けになり身も心も清められ、清々しく新たな気持ちに立ち返りました。

節分祭の齋行

二月三日（金）午後二時より節分祭を齋行致しました。

本年はアテネ五輪女子レスリング銀メダリストの伊調千春選手と金メダリストの伊調馨選手をお招きし、年女役としてご奉仕いただきました。

当日は天候にも恵まれ、大紋を身にまとわれたお二人は、百名の年男役・年女役の方々と共に拝殿の外ばめを柳と梅の枝で作った笹でたく追儺神事や豆撒き神事に続き、年男役・年女役の弥栄を祈願する宝槌打振神事、大声で笑い厄災を祓う福笑い神事をこ奉仕されました。

祭典後、午後三時頃より拝殿前で行われた豆撒き式では、お二人の姿を一目見ようと集まった大勢の参拝者からの声援に手を振ってお応えになり、豆撒き式終了後には「九月末に中国で行われる世界選手権で姉妹そろって金メダルを取りたい」と笑顔で話されておりました。



銀メダリスト伊調千春さん（左）  
金メダリスト伊調馨さん（右）



舞殿における豆撒き式



平成18年節分祭奉仕者（2月3日）

### 紀元節祭の齋行

二月十一日は、毎年全国の神社を始め各地で建国を記念する行事や式典が行われます。小國神社では、午前八時三十分より氏子内各地区三ヶ所より子供会を中心に、約三百名が横断幕を先頭に、国旗や手旗を持ち奉祝パレードが行われました。当日は、晴天に恵まれ穏やかな一日となり、子供達や参加者は元氣よく神社に向かいました。神社では、拜殿にて紀元節祭が斎行され森町長村松藤雄様を始め、森町議会議長中尾和男様、静岡県議会議員奥之山隆様、岩瀬護様のご参列を戴き、祭典後には拜殿前の建国記念奉祝式典にてご祝辞など賜りました。また境内では氏子青年会の奉仕による餅つきや、ビンゴゲームが催され参加者やご参拝の皆様にも黄粉餅が振舞われ、ゲームの景品を手にした子供達の大喜びする姿が見られるなど境内は賑わい楽しいひとときを過ごして建国の日をお祝いしました。



奉祝式典・国旗掲揚



参拝者による奉祝の餅つき



奉祝式典・開会の辞



田遊び神事奉仕者



第7番 一種蒔一

静岡県無形文化財 田遊祭の齋行  
 (平成十八年一月三日(火) 午後一時)

### 初甲子祭の齋行

二月四日、寒明けの最初の甲子(きのえね)の日に初甲子祭が斎行されました。甲子の日は、当社の御祭神であります大己貴命が国土経営を始めた日と云われ、六十日に一度巡るその日は御縁日とされておりです。

その中でも初甲子祭は、特に御霊験あらたかな日とされ「願ひ事のままに叶う」と古来より伝えられております。さらに、この日に限っては本殿の廻りを歩いてお参りすることができ、講社の講員を始め敬神婦人会の会員など多くの皆様、普段入る事の出来ない大神様のすぐ間近にて家内安全・商売繁盛・無病息災などを御祈願いたしました。

また、参拝後には福引きが行われ、祭典に参列された方はもとより、ご祈祷をお受けいただいた皆様にも福引きを引いていただきました。中には、特等を引いて大喜びするご家族の姿も見受けられ、楽しい一時をお過ごしいただきました。



初甲子祭・御本殿前にてのお参り



# まつり歳時記

三月〜六月

## 三月

### 弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
- 十八日 鉦執社例祭 (午後一時半)
- 二十一日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)

## 四月

### 卯月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 二日 さくら祭 (午前十時半)
- 五日 甲子祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 八日 杉祭 (午前八時半)
- 八日 全國一等宮殿社例祭 (午前九時)
- 八日 勸学祭 (午前十時半)
- 十三日 垢離祭 (午前十一時)
- 十三日 舞揃 (午後二時)
- 十五日 献詠祭 (午前九時)
- 十五日 氏子入り奉告祭 (午後二時)
- 十五日 十二段舞楽奉奏 (午後二時)
- 十六日 十二段舞楽奉奏 (午前十一時)
- 十六日 神幸祭 (午後二時)
- 十七日 前日祭 (午前十時)
- 十八日 例祭 (午前十時)

## 五月

### 皐月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 五日 こども祭 (午前十時)
- 六日 本宮山青葉祭 (午前十一時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)

## 六月

### 水無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前九時)
- 三日 花菖蒲観賞祭 (午前十時半)
- 四日 甲子祭 (午前九時)
- 四日 花しょうぶまつり (午前十時半)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十一日 御田植祭 (午前九時)
- 三十日 夏越の大祓式 (午後三時)



五葉つつじ

## 例祭の齋行

四月十八日は、御神霊が本宮山に鎮齋され、また勅使が参向された際に十二段舞楽を奉奏された日です。御祭神である「大己貴命」様には特別に縁故があり例祭が齋行されます。また例祭に伴う祭典、行事として十五日より献詠祭・氏子入り奉告祭の齋行、十六日は神幸祭(おわたり)・勅使行列・国指定の重要無形民俗文化財「十二段舞楽」の奉奏(試奏十五日)、境内では新茶の手揉・大弓会、十七日は前日祭が齋行されます。この他十六日午後六時頃より甘酒の無料授与・舞楽終了後には、福袋引替券入り投げ餅が行われます。



神幸祭の巫女舞

## 古代の森シリーズ 16

### 神徳殿

神徳殿は入母屋椽皮葺きの社殿で拜殿の東側の建物です。昭和五十一年に本社より御分霊をお祀りし、ご祈禱・結婚式の増加に対応する祈禱殿として新築されました。

拜殿とは渡り廊で結ばれており、祭典・挙式等の折には祈禱者の皆様をお待たせすることなくご案内ご奉仕しております。



神徳殿

### 神宮・式年遷宮について

「清々し」という言葉があります。これは、いままでの不浄なものを取り払い清浄な状態に立ち返り、よみがえることです。神社においてこれは最も重んじられ日々、年々繰り返されています。

伊勢の神宮では、毎年新穀を献り豊穰を感謝し、天照大神の新しい光をいただく最も重大な「神嘗祭」が斎行されます。これに併せ調度品や祭器具類が新調されます。御社殿においては、毎年新しくすることが叶わないため、およそ一三〇〇年前天武天皇の命により二十年に一度建て替えられることとなりました。これを「式年遷宮」といいます。

神宮の御社殿は唯一神明造といひ、日本最古の建築様式で、式年二十年に一度の制度により今なお当時の様式を保っています。これは、ただ老朽化や損傷による理由ではなく、清々しい状態を維持し、大御神の新たな御神威を仰ぐことにより国の若返り・生命の継続・永遠の発展を願うためのものです。いわば、「大神嘗祭」と

考えられています。二十年という歳月は、次世代への継承の一区切り、特に技術者たちの技法伝承にふさわしい期間だと推測されます。

平成二十五年（二〇一三）、第六十二回式年遷宮が斎行されます。第一回は、持統天皇四年（六九〇）に行われましたが、戦国時代には国家の事業として行うことが困難となり中断された時期もありました。この頃より、神宮の地元の人々（神領民）によって御用材を運ぶ「お木曳」が奉仕されるようになり、今では全国の崇敬者が一日神領民となり奉曳を行います。本年は、その「お木曳」の年にあたり多くの崇敬者により奉曳されます。神宮と国民とが一つとなり、皇室及び国民の祖先に報いる理想の姿ではないでしょうか。

日本人の心が集約され、国と祖先への思いが込められた神宮及び式年遷宮は、その意義からも絶やすことが出来ません。遷宮斎行については、国民ひとりひとりの深い理解と協力がなければ成り立ちません。家庭で神宮大麻を祀り神宮を仰ぐことは、その現れの一つといえます。

〈写真提供 神宮司庁〉



内宮の御正殿



御木曳行事

### 勸学祭のご案内

当社では毎年、新学期に合わせて勸学祭を斎行致します。このお祭りは、氏子地区内で小中学校に入学されるお子様にご参列いただき、大神様に学業成就や身体健全をご祈願申し上げます。

拝殿内にて、期待に胸膨らませた新年生が玉串をご神前にお供えし、決意を新たにされる様子は大変清々しいものです。本年は四月八日（土）の午前十時三十分より斎行致しますので、桜が満開の中ご家族おそろいでご参列されてみてはいかがでしょうか。



勸学祭の玉串拝礼

### 稚児行列奉仕者の募集

四月十六日（日）午後二時より神幸祭（おわたり）を斎行し、稚児行列を執り行います。つきましては、本年も行列に参加される稚児を募集しておりますので、ご希望の方は当社までご連絡ください。

電話 ○五三八一八九七三〇二  
振興会 稚児行列係

#### 募集要項

- 一、対象者 小学校三年生位までの男女
- 一、参加費 五、〇〇〇円
- 一、募集人員 先着二十名
- 一、申込締切 四月八日



稚児行列

### 命 名

平成十七年十一月一日

平成十八年一月三十一日

- |      |     |     |     |     |     |     |     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 武蔵島立 | 藤田  | 村松  | 鈴木  | 森下  | 山崎  | 北谷  | 鈴木  |
| 青空   | 真広  | 福実  | 璃実  | 心愛  | 彩葉  | 彩葉  | 愛佳  |
| 袋井市  | 袋井市 | 掛川市 | 磐田市 | 磐田市 | 磐田市 | 磐田市 | 磐田市 |
| 森町   | 袋井市 | 掛川市 | 掛川市 | 掛川市 | 掛川市 | 掛川市 | 掛川市 |
| 平澤   | 加藤  | 大場  | 三浦  | 佐藤  | 加藤  | 岩崎  | 岩崎  |
| 虹羽   | 孝哉  | 翔生  | 舞   | 優芽  | 立   | 咲貴  | 咲貴  |
| 掛川市  | 袋井市 | 北海道 | 磐田市 | 掛川市 | 掛川市 | 浜松市 | 浜松市 |

○当社では、お子様の命名を申し受けております。

- |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 上林  | 山本  | 鈴木  | 亀山  | 大石  | 高森  | 鈴木  | 木野  | 野口  | 岩堀  |
| 郁斗  | 詩季  | 大智  | 和志  | 晴暉  | 一平  | 翔也  | 竜登  | ひとみ | 大   |
| 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 |
| 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 |

「小國の杜・点描」



三春桜（みはるさくら～記念館横）



深山つつじ（みやまつつじ）



野花草薺（のはなしょうぶ）



例祭前に記念館にての練習合宿

舞楽保存会の活動



どんど焼祭おはたき餅の授与（1月15日）

氏子青年会の活動

平成十八年三月一日  
 「玉垂」（たまだれ）第十六号  
 題字揮毫 神社本廳前総長 工藤 伊豆  
 発行 小國神社社務所  
 郵便番号 四三七一〇二二六  
 住 所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一  
 電話番号 〇五三八（八九）七三〇二  
 FAX 〇五三八（八九）七三六七  
 印刷 (株)デザインオフィス エム・エス・シー

平成十八年一月十五日（日）午前十時、小正月の恒例の行事であります「どんど焼」を撮影いたしました。「おはたき餅」を青竹の先につけて、この火で焼いて食べます。一年中無病息災に過すことができますといわれ、多くの方がお参りになりました。

表紙写真について

〇「玉垂」十六号をお届けいたします。年明けから祭事行事の日は晴天に恵まれました。節分祭にご奉仕頂きました伊調姉妹選手を撮影しようと豆撒き後も多くの方々が残っておられました。北京オリンピック出場を目指して是非がんばってもらいたいものです。またトリノオリンピックの荒川静香選手の演技には感動を覚えました。世界の頂点を目指すひたむきな努力があったからでしょう。

〇いよいよ例祭が近づいてまいりました。関係各位の変わらぬご理解ご協力をお願い申し上げます。

編集後記



紫 蘭（しらん）